

長野県内の淡水魚類について

吉田利男*・山本雅道*

信州大学教養部が昭和41年に発足した。その教養部の前進であった松本女子師範の時代に集められた魚類標本があり、昭和43年に新校舎(教養部)に移る時、それらの資料を整理し、標本リストを作成した(吉田, 1968)。その後、著者ら、および中村一雄氏(元 信大教養部)や上原武則氏(元 松本深志高校教諭)らが集めた魚類標本も含めて、私達の手元にある資料をまとめたので、参考資料に供したい。なお、女子師範の時代には河野通璋氏が主に標本を集められていた。

とくに、昭和10年代の標本と昭和40年代以後今日までの資料があるので、多少とも魚類の遷移を知る資料になるのではないかと。また、私達の標本もそうであるが、県内の小・中・高校の寝むれる標本の中には古い時代の資料や貴重な標本もあることと思う。そのような資料が一同にかいすることを夢見る次第である。近年、サケ稚魚の放流が千曲川でも行なわれた。サケは信濃川を遡上し、千曲川や犀川に入り、更に犀川より奈良井川・梓川にまでのぼっていたことを語る標本がある。

そこで、各魚種が、何川のどこで捕れているか、昭和4~10年代までの資料を表1に示した。更に、それらの資料をもとに「サケ科」・「コイ科」・「その他」の3群に分け、採集地を各河川にプロットした(図1・2・3)。

次に、昭和40年代以後、今日までの資料をとりまとめ、各魚種の採集河川及び採集地を表2に示した。これらの採集地を各河川にプロットした(図4)。

なお、昭和4~10年代までの資料をみると、主な採集河川・湖沼は奈良井川・梓川・犀川・千曲川・木曾川・天竜川・諏訪湖・木崎湖である。表1で、各河川での採集地点が不明な個体は、奈良井川・田川はすべて松本に、千曲川は上田に、鎖川は西洗馬に、裾花川は安茂里に表示してある。

若干ではあるが、これらの資料よりいくつかの魚種について、コメントをつけておく。

1) サケ: サケは昭和10年頃までは奈良井川の松本地方や、梓川の島々などで採集されている(図1)。

2) キザキマス: ウジマスとも呼ばれ昔から仁科三湖(木崎湖・中綱湖・青木湖)にすみ、木崎湖に注ぐ小川(農具川など)をのぼり産卵していたが、今日その姿は少いという。ただ、農具川ではカワシンジュガイが現在

も生息・繁殖しているの、キザキマスの存在も可能性が高い。

3) アカザ: アカザは昭和10年頃までは個体数は多くはないが、各河川に広く分布していた(特に犀川水系)。清澄な流れを好む底生魚である。近年、犀川水系ではほとんどみられなくなった。

4) カジカ: カジカは昭和10年頃では清冽な河川ではごく普通にみられていた底生魚である。近年は河川の汚濁が進行したため、生息域が減少し個体数も減ってきた。

5) スナヤツメ: スナヤツメは終生川にすみ、海には下らない。春先、産卵のため川をさかのぼり、小川や湧水に群がる。昭和10年代頃まではごく普通にみられていたが、近年、急激にその姿を消した(図4)。

6) ホトケドジョウ: オカメドジョウとも呼ばれ、日本特産種の一つ。主として湧き水を水源にもつ細流や小川にすんでおり、ごく普通にみられていた。近年、農業の使用や河川の汚濁が激しいためその生息域が急に狭まっている(図4)。

7) イワナ: 各河川の上流域に普通にみられる。近年放流事業による雑種イワナの出現が目につく。特に、上高地梓川では放流事業による複雑な人為圧のため、イワナとカワマスの雑種が多くみられる。明神池附近から下流の梓川本流では殆んどが放流魚(雑種イワナ・カワマス・アマゴ)によって占められ、純系のイワナはここより上流にしかいない。

8) ブラウントラウト: 1920~1925年に上高地の明神池に稚魚の放流が行なわれた。その後の放流はない。現在、明神池で多数繁殖している。

9) ブラックバス: 昭和10年代はもとより昭和40年代まではみられなかった魚種である。ここ7~8年の間に誰かがこっそり放流したようだ。梓湖・美鈴湖・木崎湖で繁殖している。

なお、河野(1935)は昭和10年代までの資料のうち、奈良井川のものをもとめて、「奈良井川に棲息する魚類」として信濃教育に報告している。また、この当時、長野県の魚類について下記の報告がある。

田中茂徳(1909)「信濃地方の淡水魚類に就て」

信濃博物学雑誌38号

田中阿歌磨(1918)「諏訪湖の研究」(岩波書店)

田中阿歌磨(1926)「野尻湖の研究」

田中阿歌磨(1930)「日本北アルプス湖沼の研究」

(北安曇教育会)

* 信州大学教養部生物学教室

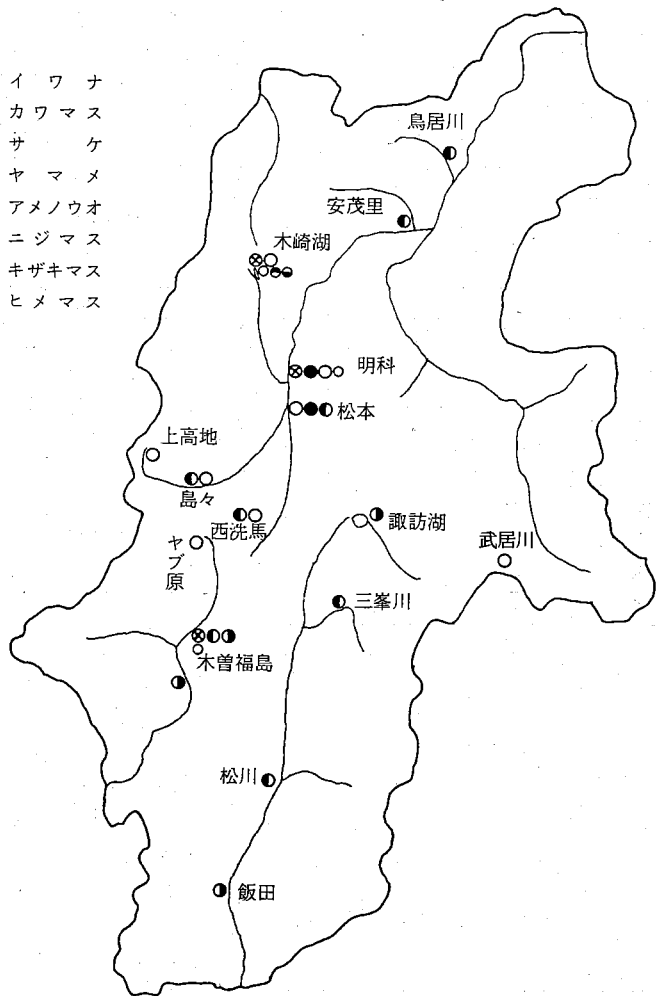
表 1. 昭和 4 年～昭和 12 年までの長野県内淡水魚類標本の採集地

採集地 魚種	犀川水系										千曲川水系										天竜川水系					木曾川水系		釜無川水系(武居川)		
	木 崎 湖 (大町)	池 田 (会 染)	穂 高	明 科 (塔ノ 原)	松 本 奈 良 井 川	西 洗 馬 (朝 日)	上 高 地	島 々	安 茂 異 穂 花 川	天 神 川	軽 井 沢	佐 久 (岩 村 田)	小 諸	上 田 (千 曲 川)	中 塩 田	屋 代	井 上	小 布 施	中 郷 (鳥 居 川)	玉 川 (新 川)	諏 訪 湖 (釜 口)	伊 那	高 遠 (三 峰 川)	松 川	飯 田 (下 伊 那)	阿 智 川	木 曾 村	木 曾 福 島	上 松	*
イワナ	*				*	*	*	*	*																					*
カワマス	*				*	*	*	*	*																					*
サケ	*				*	*	*	*	*																					*
ヤマメ	*				*	*	*	*	*																				*	
アメノウオ(タナビラ)	*				*	*	*	*	*																				*	
ニジマス	*				*	*	*	*	*																				*	
キザキマス	*				*	*	*	*	*																				*	
ヒメマス	*				*	*	*	*	*																				*	
コイ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
フナ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ウグイ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
アブラハヤ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
オイカワ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
カマツカ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
タモロコ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ニゴイ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ヒガイ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ゼニタナゴ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ヤリタナゴ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
モツゴ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ドジョウ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
シマドジョウ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ホトケドジョウ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
アカザ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ナマズ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
カジカ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ヨシノボリ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ウキゴリ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ウナギ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
スナヤツメ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
メダカ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
アユ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	
ワカサギ	*	*	*	*	*	*	*	*	*																				*	

三村邦雄(1933):「木曾産魚類雑記」(信濃教育 561号)
 宮地広三郎(1935):「信州の魚類」(岩波書店) 上野益三(1935)の「上高地及び梓川水系の水棲動物」の中の論文。
 岩倉 親(1936):「長野県の淡水魚類」(信濃教育)
 丹羽 弥(1954):「木曾谷の魚」(木曾教育会)
 さらに、昭和40年代以後、今日までの資料には、とく

に上高地のイワナ・カワマス・雑種イワナ・テラウソントラウトなど特殊な資料も多く含まれている(1975-1982)。また、昭和50年から昭和57年までの松本市内の各河川(女鳥羽川・薄川・田川・奈良井川・牛伏寺川・釧川・大門沢川・穴田川)の魚類については上原・吉田(1982)らの資料が、さらに諏訪湖・美鈴湖・駒ヶ根付近の天竜川水系の魚類については日本の資料が含まれている。

- イワナ
- ⊗ カワマス
- サケ
- ◐ ヤマメ
- ◑ アメノウオ
- ニジマス
- ◐ キザキマス
- ◑ ヒメマス



- コイ
- フナ
- ▣ ウグイ
- ▤ アブラハヤ
- ▥ オイカワ
- ▦ カマツカイ
- ▧ ニゴイ
- ▨ モツゴ
- ▩ タモロコ
- ヒガイ
- ◊ ゼニタナゴ
- ◆ ヤリタナゴ

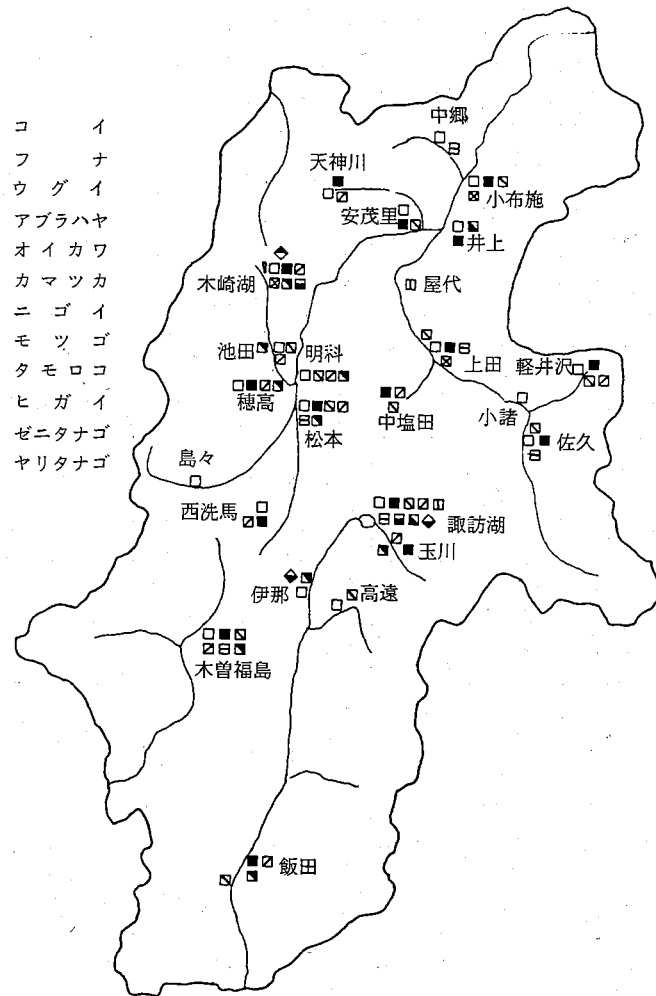


図1. 昭和4年から昭和12年までの長野県内淡水魚類標本の採集地域(サケ科)

図2. 昭和4年から昭和12年までの長野県内淡水魚類標本の採集地域(コイ科)

- ▷ ドジョウ
- ▶ シマドジョウ
- ▼ ホトケドジョウ
- ▽ アカザ
- ▽ ナマズ
- ◁ カジカ
- ◁ ヨシノボリ
- △ ウナギ
- ▽ スナヤツメ
- メダカ
- アカサギ

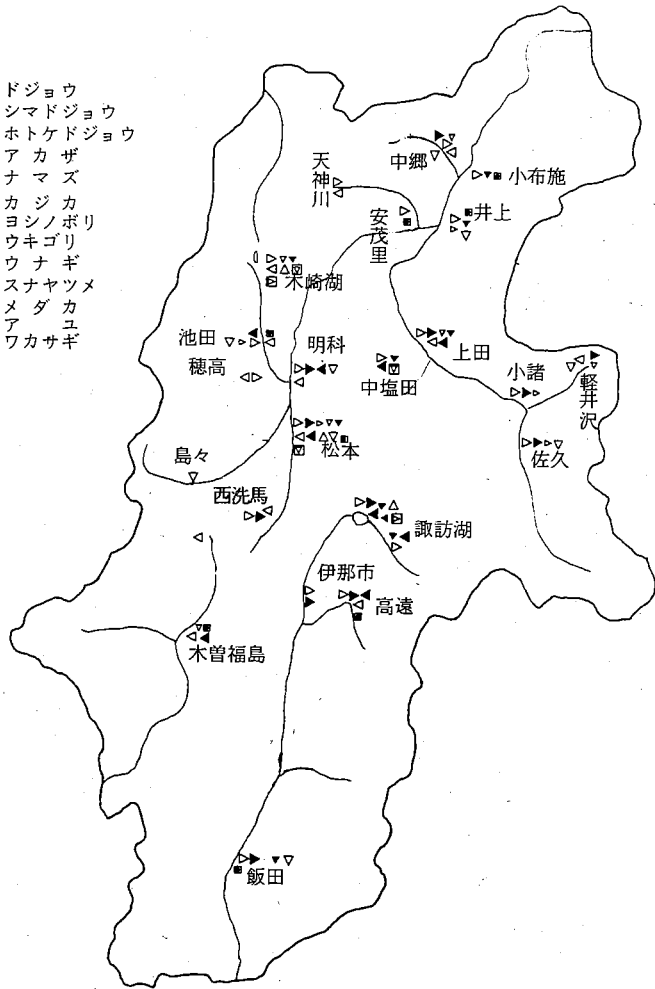
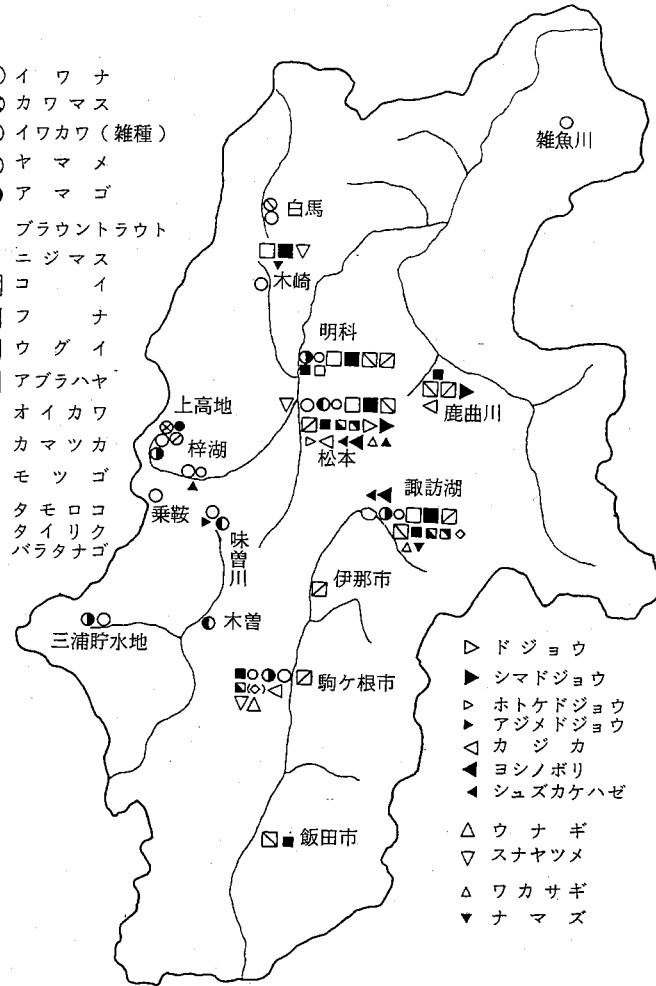


図3. 昭和4年から昭和12年までの長野県内淡水魚類の標本の採集地域（その他）

- イワナ
- ⊗ カワマス
- ⊗ イワカワ（雑種）
- ヤマメ
- アマゴ
- ブラウトラウト
- ニジマス
- コイ
- フナ
- ◻ ウグイ
- ◻ アブラハヤ
- オイカワ
- カマツカ
- モツゴ
- タモロコ
- タイリク
- ◇ バラタナゴ



- ▷ ドジョウ
- ▶ シマドジョウ
- ▼ ホトケドジョウ
- ▶ アジメドジョウ
- ◁ カジカ
- ◁ ヨシノボリ
- ◁ シュズカケハゼ
- △ ウナギ
- ▽ スナヤツメ
- △ ワカサギ
- ▼ ナマズ

図4. 昭和40年代以後現在に至るまでの長野県内淡水魚類標本の採集地域